

HIV - 性的パートナーに伝えること - 性的リスク、パート 5

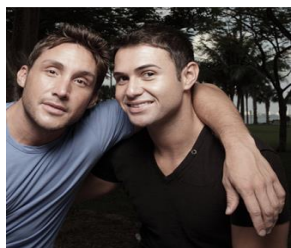
性的パートナーには、あなたの HIV 感染状態を伝えることが重要です。パートナーと気軽に付き合っているだけか長期的なものかは関係ありません。



また、パートナーの HIV 感染状態や、STD（性感染症）に感染しているかどうかを確認することも大切です。

あなたが HIV 陽性でパートナーが陰性の場合、安全なままでできる性行為があります。

新しいパートナーと性行為を行う前に、ご自身の性的遍歴、ドラッグ使用歴、HIV 感染状態を伝えましょう。あなたとパートナーが両方とも HIV 検査を受けることを検討してください。



あなたとパートナーが、その関係においてどのような性行為をし、どのような方法で感染を予防するかを話し合ってください。また、現在と過去の性的パートナーについて、正直に話す必要があります。

あなたが HIV 陽性でパートナーが陰性の場合、PrEP（暴露前予防投薬）を服用するかどうかを話し合しましょう。PrEP は HIV 感染を予防する薬です。

あなたが HIV 陽性で、性行為中にコンドームが破れるなどして陰性だったパートナーに HIV が感染した可能性がある場合、PEP について話し合しましょう。

PEP（暴露後予防投薬）は、HIV 感染リスクに曝された後に感染を予防する薬です。PEP は、感染した可能性の高い時から 72 時間以内に服用してください。あなたとパートナーの両方が正直かつオープンに話し合い続けることで、お互いに健康を維持し、新しい感染症を予防することができるのです。

HIV/エイズに関して疑問がある場合は、必ず解決してください。公衆衛生局または医療機関に問い合わせるか、公共図書館にてお調べください。



Text is from HIV/AIDS sources from the Department of Health and Human Services and adapted by HealthReach and Healthy Roads Media. This project has been funded in whole or in part with Federal funds by the National Library of Medicine award number HHSN2762015000111 awarded to the Center for Public Service Communications. Images from iStock.com.